

熊本市妊娠内密相談センターの設置について  
～「予期せぬ妊娠で悩む人々への十分な対応を図る体制整備に関する  
指定都市市長会要請」に関する報告～

## 1 背景・経緯

- 熊本市の医療法人聖粒会慈恵病院は、匿名で子どもを預かる「こうのとりのゆりかご」を平成 19 年に設置。
- 熊本市が設置した「こうのとりのゆりかご専門部会」は、こうのとりのゆりかごへの預け入れを前提とした孤立出産等の危険性や、こどもの出自を知る権利が保障されないことへの課題を指摘。
- 平成 29 年、専門部会は国に内密出産制度の検討を要望。以降、熊本市及び指定都市市長会から国へ法整備の検討等を継続して要望。※指定都市市長会は、平成 29 年及び令和 3 年に要望。
- 令和 4 年、法務省及び厚生労働省は「妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱いについて(以下「内密出産のガイドライン」という。)」を作成、通知。
- 慈恵病院では、これまでに 9 例の「内密出産」を実施。

## 2 熊本市妊娠内密相談センターの設置 (R5.4.1 開設)

### (1) 目的

- 「こうのとりのゆりかご」への預け入れ事例や内密出産事例等を通して、予期せぬ妊娠で悩む女性は、社会から孤立し、誰にも相談できないまま出産に至る場合があると把握。
- 匿名でも相談しやすく、早い段階から相談者に寄り添った支援を行うため、妊娠の悩みや困りごとを内密で相談できるという意味を込めて、「妊娠内密相談センター」と命名。

### (2) 体制

- 保健師 2 名、社会福祉士 2 名、心理相談員 1 名がチームでソーシャルワークを実施。
- 電話(対面)相談:午前 8:30 から午後 5:15 まで受付  
夜間・休日・祝日はにんしんSOS熊本(産前・産後母子支援事業委託事業者)が電話相談対応。
- メール相談:24時間受付(夜間・休日・祝日は翌営業日対応)

### (3) 事業概要

- 予期せぬ妊娠に悩む方等への伴走型の相談支援
- 思春期、妊娠・出産、不妊・不育等に関する専門職による相談
- 児童・生徒向けの性に関する教育 等

### (4) 現在の対応状況

- 4 月の開設以降、不妊や経済的な不安等に関する匿名相談を含む複数の相談に対応している。
- 現在、慈恵病院と共に、内密出産を希望する妊婦への対応フローや内密出産のガイドラインに示されている規程の明文化に向けて協議を開始したところ。

## 3 最後に

- 慈恵病院には、今もなお全国からの相談が多数寄せられていることから、このような状況にある女性は全国どこにでもいることが分かる。
- 全国の自治体と連携協力の下、予期せぬ妊娠で悩む女性の相談支援体制の更なる強化に取り組んでいきたい。